

会員と千葉県連盟をつなぐ

ちばニュース

2017年 6月号



千葉県勤労者山岳連盟

Chiba Workers Alpin Federation

2017年6月1日発行 通巻290号

梅雨時の山行は

無理をしないで楽しもう!

6月号目次

・ 目次	2
・ 5月理事会報告	3
・ 防災ヘリ有料化要請書(案)	5
・ 松戸地域交流登山報告	6
・ ハイキング委員会報告	8
・ 武内 洋岳 トークショー案内	9
・ マウティンゴリラ講習会案内	10
・ 「登山時報」購読のお願い	11
・ ゆう便り No24	12
・ 県連便り	13
・ 6月・7月 予定表	14

表紙説明

毎年、松戸地域の会が交流登山を実施している。順番で幹事を受け持って近郊の山に日帰りで行っている。

今回は松戸山の会が幹事で4会が参加して、水沢うどんを食べたついでに水沢山に登った?と思える位美味しいうどんがある。観音様も有名でぜひ、次回も投稿して下さい。

皆さんの会の個人山行・会山行・グループ山行・ユニーク山行・自慢の山行ようは山行ならば何でも大歓迎です。

千葉県連 5月理事会報告

記録・報告者

山崎 隆 (茂原道標山の会・県連理事)

千葉県連理事会を、下記のとおり実施しましたので報告します。

- ◆ 実施日 2017年5月18日(木) 19時～21時
- ◆ 実施場所 船橋市西部公民館 4F会議室
- ◆ 参加会・役員

ちば山の会(2名)	市川山の会	茂原道標山の会	松戸山の会
船橋勤労者山の会	東葛山の会	山の会「岳樺クラブ」	かがりび山の会
シリウス☆山の会	千葉民医連山を 歩こう会	千葉こまくさハイキ ングクラブ	ふわくハイキング サークル
岳人あびこ			
県連顧問	会長	副理事長	ハイキング委員長
自然保護委員長			

◆ 各委員会報告

1、教育遭難委員会

- ① 初級登山講習会案内 6月10日(土) 鹿沼岩山
参加締め切り 5月21日 かがりび山の会・伊東まで
初心者対象なので、経験者は遠慮の事 詳細は各会理事まで
- ② 次回委員会 5月22日(月) 県連事務所

2、ハイキング委員会

- ① 房総ロングハイク 2018年1月27日(土)28日(日) 七里川温泉泊
- ② 2018年4月12日(木) 宝篋山(ほうきょうさん) 茨城県筑波山隣
- ③ ちばニュースへのリレーエッセイ掲載の実施を確認

3、自然保護委員会

- ① クリーンハイクについて 今年度は県連統一での実施は見送る、各会で計画・実施して、報告をお願いします。
- ② 意見として「50周年記念・自然保護セミナーが成功しているので、実施しないのは勿体ないのでは、理事会で議論をしてはどうだろうか」。

◆ 各委員会に分かれての討議報告

1、組織委員会

- ① 委員会の定例化 奇数月の第4火曜日 19時 県連事務所 予定
- ② 担当理事の他に、各会より組織委員を選出してほしい。
- ③ 前回のアンケートを再検討し、必要であれば再度実施する。
- ④ 組織委員会予定 5月30日(火)・7月25日(火)・9月26日(火)

2、ハイキング委員会

- ① 房総ロングハイク・ウィークデイ山行は決定。
- ② ふれあいハイク 2018年9月30日(日)三浦丘陵・大楠山に決定

3、機関紙委員会

- ① 機関紙の位置づけは、広報、記録という意義があるが、ホームページは更新されるので記録としては残らない。
- ② 内容を、山行報告、イベント、全国連盟欄、スケジュールなどにパターン化した方が作りやすいのではないか。
- ③ 機関誌委員は現在「0」です。県連理事の参加・協力をお願いする。同時に各会の会報・記念誌の発行等に携わった会員のアドバイスをいただきたい。

4、教遭委員会

- ① 各種講習会などについては、従来どおり救助隊と協力をして実施して行く。
 - ・教遭委員会 企画立案
 - ・救助隊 講師・補助員として参加
- ② 各種講習会の参加費や、講師・スタッフの交通費や参加費の検討を進める。

◆ 連絡事項

1、今年度初の死亡事故が発生した。(全国連盟遭難対策部報告)

栃木県・那須スキー場での雪崩事故報道にかくれているが、他の山域でも雪崩に起因する事故が報告されています。

参考のため、重大事故のみ報告します。

- ① 労山においても、5月4日・奥穂高岳で山スキーのパーティーが湿雪雪崩に遭遇し、事故者が巻き込まれ転落した。県警へリにて収容し病院に搬送されたが頭蓋底骨折により死亡確認。
- ② 登攀終了後、ザイルでつながったままで下山中に、先行者が滑落し後続者が引っ張られ滑落した。応急処置後、救急車にて病院に搬送した。
後続者、肋骨4本骨折・骨盤骨折。
- ③ 3人組でクライミング中、セカンド登攀中に役5mからグランドホールした。ビレイデバイスのザイルの間に、もう一人のセカンドのザイルが挟まった状態で、オートロックが効かず、かつ両手を離していたためグリップビレイでの停止も出来なかった。右踵骨開放性骨折(全治 60日)

山スキーであっても、雪崩や登攀などの基本技術を繰り返し習得する事が重要。クライミングにおいても、基本中の基本を守り、相互監視・声掛けで事故防止を。ベテランでも上級者でも、引力に逆らうことは出来ない、落ちる時はみんな一緒。

2、埼玉県の、防災ヘリ有料化についての報告。

防災ヘリ有料化については、全国連盟から埼玉県知事宛に要望書を送る。地方連盟にも全国連盟の要望書を参考に、埼玉県知事宛に要望書を送るように依頼する。千葉県連盟としての対応について、6月理事会で提案したい。

- ・埼玉県知事宛の要請書(別紙)を検討して下さい。

(文責 広木 県連会長)

埼玉県防災航空隊の緊急運航業務条例の改正に伴う運用への要望書

自民党県議団が議員提案した県の防災ヘリコプターによる山岳救助で手数料を徴収する県条例改正案が、県議会で3月27日可決されました。

私たちは、今回の埼玉県山岳地域での防災ヘリコプターによる救助活動を有料化することは、時代に逆行するものであると考えます。

議員提案の理由は「有料化により登山者の注意が喚起され、無謀な登山の減少につながる」とのことですが、私たちは有料化が遭難防止の特効薬であるとは考えておりません。私たちは、国や地方公共団体が登山者安全教育を積極的に行い、登山道整備などにも力を入れていくことが、遭難事故の防止につながるものと考えています。

消防行政には国民の生命、身体、財産を適切に守る役割があり、運営に憲法の基本原則（平和的生存権、基本的人権、個人の尊重・幸福追求権、生存権、財産権、憲法遵守義務）が貫かれていなければならないと考えております。この消防行政のよるべき立場から考えると、埼玉県防災航空隊だけがなぜ手数料を徴収するのか、その根拠が不明であり、この県条例改正案は、憲法が掲げる法の下での平等の原則にも反するものです。

消防法では「国民の生命、身体及び財産を火災から保護するとともに、……災害等による傷病者の搬送を適切に行い、もって安寧秩序を保持し、社会公共の福祉の増進に資することを目的とする」としています。

このような憲法と消防法や消防組織法の基本原則により、消防事業は無料で、公共財として提供する必要があります。また、救急業務を一部有料化することについては、平成28年3月消防庁救急業務のあり方に関する検討会報告で、全国の消防本部アンケートの中で、①生活困窮者等が救急要請を躊躇する、②有料無料の区別判断が困難③傷病者とのトラブル増加、④料金徴収等に係る事務負担の増大、などさまざまな懸念事項があがっています。

この条例施行が来年1月1日であり、具体的内容は告示等で知事が定めることから、埼玉県において運用規則や告示など詳細検討されるにあたり、法的検討はもとより多方面からの意見を聴取したうえで、以下の要望を十分に考慮し告示等を行うよう求めます。

記

- 1 緊急事態においては、生命の安全と迅速な救助活動が最優先される施策を進めてください。救急業務の一部有料化はこれを大きく妨げるものです。憲法に反する条例ですが、少なくとも被救助者の責めに帰すべきと認められない場合は、有料化の対象外としてください。
- 2 登山者への注意喚起や、無理な登山の減少のために、埼玉県として、まず登山道の整備や登山者の安全指導に取り組んでください。

東葛地域 4 会 春の交流山行：水沢山報告

松戸山の会 丸山 宏

山行日：2017 年 5 月 16 日（火）

参加者：かがりび山の会 5 名、シリウス山の会 4 名、まつど山翠会 1 名、松戸山の会 4 名
計 14 名

コースタイム：水沢観音 10：15－お休み石 11：10/11：20－石像群 11：50/12：00
－水沢山 12：20/12：40－林道出合 13：05－つつじヶ丘展望台 13：15
－伊香保神社 14：00－石段の湯 14：10/14：55－伊香保バスターミナル 15：10

2013 年から始まった交流山行も今年で 4 年目に入り、今回は松戸山の会が主幹、4 会で 14 名の参加でした。上州水沢山へ行ってきました。

天気は晴れ、期待がはずむ中、上越線渋川駅から登山口である水沢観音に向かう。水沢観音ではまず顔合わせ、お互いに紹介しあうも顔なじみが多くなごやか。

ストレッチ後神社で安全登山を祈願、その先の登山口から登り始める。

尾根まで標高差略 600m の直登だが新緑とツツジの中、ゆっくりペースで登る。

長い樹林を抜けたところに突然石仏群のお出迎え、更に群馬の山々を見渡す大展望が待っていてくれた。

その後 15 分程アップダウンを繰り返して水沢山（1194m）の頂上に立つことができた。

頂上では集合写真を撮り、昼食タイム。山々を見渡しながらの食事は楽しい。

下山は反対側を下り、つつじヶ丘展望台を経て伊香保神社へ。そこから下が有名な伊香保の石段街です。中程の「石段の湯」に皆で汗を流しに入れたのが何よりでした。

下山後新松戸駅のお店で交流会、11 名が参加し大いに盛り上がりました。

（松戸山の会 丸山）

あまりなじみのない山でしたが、登って認識を新たにしました。山頂からの素晴らしい眺望、宗教的な匂いのする険しい登山道、地元で慕われていることが良くわかりました。また、山行を通じて他の会の方々と親睦を深められ、十分に交流山行を楽しむことができました。松戸山の会さん、ありがとうございました。

次回は当会ですのでよろしくお願いいたします。

（かがりび山の会 野田久生）

まつど山の会、山翠会、かがりび山の会、シリウス山の会の 4 会が待ちまわりで交流及びステップアップ山行を目的に、春秋の年 2 回実施している。

2013 年の春から、日光高山、菊花山、吾国山～愛宕山、甲州高尾山、唐沢山、大小山、そして今回の水沢山、この間 1 回だけ雨天中止があっただけで 4 年も継続している。

交流山行が縁で知り合い山に登る、また山で他会の人と偶然に出会った時のうれしさなどは格別である。単独もよし、ワイワイもよし、山を愛する良さを感じています。

（シリウス山の会 佐藤安行）



水沢山頂上にて全員集合



水沢山の尾根に登り詰めたところで石仏群のお出迎え



水沢山頂上より。奥が上州武尊山、手前が子持山

委員会報告

2017年度 第1回ハイキング委員会

◆ 2017年5月16日(火)

◆ 出席者 桑原、佐川、八巻、小山、深草、中原、羽鳥、松宮、田中、 9名

◆ 議題

1、第34回 房総ロングハイキング

2018年1月27日(土)、28日(日) 開催決定

七里川温泉には予約しておきました。

① 東葛地区 前日の山行

- ・ 鋸山(車力道一山頂一観月道) 決定・・計画書作成して報告する。
- ・ 今後、千葉50座を歩く。

② 28日行動 ロングハイキング コース決定

- ・ 予定道り麻綿原コースから向峰コース 6:00 出発～16:00 下山予定
時間の掛かる様でしたら変更あり。崩壊箇所事前に調べて置く。

2、ウィークデー山行

- ・ 2018年春 実行する。花の次期
- ・ 場所 1、宝篋山 桜の時期 4/12(木) 山口コース 決定計画書作成
2、玉原高原 次回 考える
3、愛宕山～吾国山 次回 考える
入笠山は、遠方の為敬遠

3、ちばニュース掲載引き続き行う事にする。 タイトル(山への想い) 雑感

6月八巻、7月松宮、8月羽鳥、9月佐川、10月中原、11月深草、12月小山、
1月阿部、2月田中、3月中山、4月桑原

※ 前月の20日までに「ちばニュース」当分の間、会長広木Eメールまで。

4、その他

※次期役員選出の件、考えて置く必要あり。次回予告

※NPO法人「ちば労山ゆう」支援活動

総会 2017年4月13日(木) 19:00 西部公民館 終了

今後の支援活動は、定期的には実施せず、各会で自由に行って下さい。

※ 理事会終了後、委員会を実施する。

5、ふれあいハイキング 2018年9月30日(日) 三浦半島 大楠山 決定

下見 2017年10月1日(日) 参加協力お願いします。

※ 次回委員会 2017年 9月 12日(火) 18:00～20:00 県連事務所

8000m 峰 14 座登頂5周年記念

竹内 洋岳



トークライブ

山屋から登山未経験の方まで
みんなが山に行きたくなる
ヨシキスポーツ
オリジナルトークショー

竹内 洋岳 (プロ登山家)

登山好きな祖父の影響を受け、幼少より登山とスキーに親しむ。

高校、大学で山岳部に所属し登山の経験を積み、20歳で初めてヒマラヤの8000m峰での登山を経験。

2012年5月には世界に14座ある8000m峰全14座の内14座目となるダウラギリへの登頂を果たし、日本人初となる8000m峰14座完全登頂という偉業を達成した。

■ 開催日：2017年6月17日(土)
18:30～20:30

■ 会場：モリシアホール会議室

■ 参加費：3,000円

■ 募集人員：先着 50名

トークツアー 聴き手

大木ハカセ

アウトドア界におけるプロモーターとして活動。自らのアウトドア活動の他に、極地における冒険家や探検家の遠征事務局を手掛けるほか、冒険家や探検家を中心としたトークライブを定期開催するなどアウトドア文化の波及推進と発展を目的とした活動は多岐にわたる。また、アウトドアスキルを活かした復興支援団体「結ぶプロジェクト」の代表として世界各地の災害地にて復興活動を行なっている。

問合せ・申し込みは

ヨシキ&p2 担当 吉野 時男

047-470-8090

労山会員は、千葉県連 広木まで

danphiro@zpost.plala.or.jp

8000m14座登頂直後に、竹内洋岳さんの講演を聞く機会があった。「登山は、スポーツでなければならない」と話す、氏が印象に残っている。労山のスローガンも「登山文化を守り発展させよう」である。津田沼で氏の話の聞ける機会は中々ないだろう。多くの会員に聞いてほしい。地元で頑張る「ヨシキスポーツ」らしいうれしい企画だ。

千葉県連 会長 広木 国昭

マウンティンゴリラ登山学校 第14回机上講座のお知らせ

最新の登山装備を活用した 快適登山と 装備のメンテナンス法



レインウェアやシューズ、シュラフやダウンジャケットなど、夏山登山のための、モンベルの最新装備の紹介とメンテナンス法をお話しいたします。

講師：金森 智氏

かなもり さとる

(株)モンベル広報部 課長代理

1968年静岡県生まれ。

1991年モンベル社入社。

営業部在籍後、1999年から15年間モンベルストアの店長を勤め、2014年から現職。

大学時代より山登りを始め、クライミングや山スキーなど登山全般を楽しんでおり、現在は母校である獨協大学山岳部監督を務める。

実施日：7月5日（水）

時間：19:00～20:30（開場は18:30）

参加：無料、要お申し込み。

お申し込み先：

マウンティンゴリラ登山学校事務担当 木元 康晴

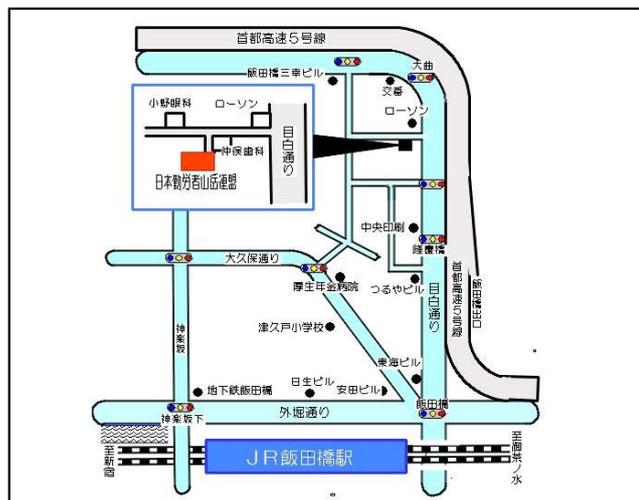
申込方法 ● 下記連絡先にお申込者氏名と、
ご希望人数をお伝えください。

E-mail ● kimoto.y666@gmail.com

電話 ● 090-8063-6851

※不在にすることが多いため、できるだけメールでの
お申し込みをお願いいたします。

場所：日本勤労者山岳連盟事務所



住所 ● 東京都新宿区新小川町5-24 (〒162-0814)

電話 ● 03-3260-6331

JR・地下鉄 飯田橋駅 下車 徒歩10分

飯田橋駅から目白通りを江戸川橋方面へ歩き、大曲バス停前のローソン
手前の角を曲がって約50mの、歯科医院の角に入った突き当りです。

登山時報のご案内 (全国連盟機関紙)

千葉県連・会長 広木 国昭

日頃、千葉県連盟活動に参加・協力をいただき有難うございます。

全国連盟の機関紙「登山時報」のご案内と購読のお願いをさせていただきます。

「登山時報」は、毎月1部・年間12部発行されています。

全国連盟の活動紹介、各地方連盟からの投稿、登山技術の講習、海外登山情報など中身の濃い情報誌です。何より、個人では入手し難い登山・ハイキング等に関する記事が掲載されています。

登山に入会されて間もない方には、登山ってなに、良くわからない、登山の特徴や歴史等も分かり難い、会の先輩に聞いても？ホームページも分かり難い、何処に聞けば良いのか等でお困りの会員も多いと思います。また、全国連盟や千葉県連盟の行事等の情報が届き難い現状もあります。

登山時報は、組織の機関紙として全国連盟が発行しています。しかし、近年は登山会員の減少や若年層の活字離れ等により減誌が続き赤字発行が続いています。これは、発行元である全国連盟の責任でもあります。赤字発行を何年も続けている事、購読者への配送も会まかせで担当者の負担も多い(会として団体購読の場合は購読料が安い分が事務処理費?)、地方連盟や加盟会役員の高齢化等を考えると現状に合っているのか等の問題もあります。

「登山時報」が、全国連盟の機関紙として発行・運営されている現状を、解決しなければならない問題も多くあります。

私は全国連盟・千葉県連盟の役員をしている事もあり、「登山時報」の現状には責任を感じています。

登山時報についての、感想・提案・要求など何でも結構です。会員の皆様の本音をお聞かせください。

まず、皆様の希望に応えられる「登山時報」にしたいと思います。

お忙しいと思いますが、ご協力をお願いします。

◆ 連絡先

- ・ 広木 国昭 (千葉県連盟・会長) Eメール danphiro@zpost.plala.or.jp
- ・ 千葉県連ホームページ・事務局への問合せ (担当に転送されます) --

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 定価 1部 310円 (消費税込)・ 年間購読 12部 3,120円 3120円 (団体購読価格)・ 購読申込みは・・・各会担当者 又は 県連理事
千葉県連会長 広木 国昭 |
|--|

ゆう便り No24

— 樹名札を付けてきました —

「ゆう」理事長 吉田 哲治

1. 日時 2017.4.28(金)夜～30(日)
2. 参加 5名
3. 活動場所 牡鹿半島・谷川浜
4. 宿泊場所 谷川浜・渥美家作業所
5. 活動内容

この3月に、「谷川浜・桜植樹の集い」として谷川の洞福寺に植えさせてもらった桜が開花したと、同寺住職の石田さんより嬉しい便りと写真がメールで送られてきた。4月18日のことである。朝一輪咲いたと思ったら、暖かな日で午後には写真のように一気に咲いたそうである。植樹の時に来月には咲くでしょう、と言われていたが、実際に咲いたところを見ると、とても嬉しいものである。

さて、その桜であるが、植樹の集いの時に樹名札を付けるのをすっかり失念していたので、集いのお礼も兼ねて2日の日程で訪石してきた。総会で呼びかけたところ5名の参加があった。

せっかく行くのだから、初日はいつものように渥美家2箇所に分かれてのホヤの「殻っこ刺し」作業のお手伝い。

今回の宿は洞福寺境内にあるプレハブ小屋。夜は石田住職もお招きしての交流ができ、大変意義のあるお話が色々と聞けたのは良かった。

2日目は洞福寺境内の草取りと樹名札の取り付け。桜は本堂裏ののり面にシダレザクラを7本、正門横にエドヒガンを1本とシダレザクラを3本、計11本植えたのだが、それぞれに1枚の、計3枚の樹名札を付けさせてもらった。我々が訪れた時にはエドヒガンはかろうじて花が残っていたが、シダレザクラには沢山の花が見られ綺麗な姿があった。来年はもっと多くの参加で花見ができるといいなと思った。

ところで、植樹の際手違いがあり、ソメイヨシノを植えたつもりがエドヒガンでした。この場をお借りしてお詫び申し上げます。

さて、先月号で定期総会の報告をしたところですが、今期は定期的な活動ではなく、必要に応じて活動していくことになりました。その際はちばニュース、メール等で発信したいと思います。よろしく願い致します。



エドヒガンの開花（4月18日）
石田住職撮影



樹名札

県連たより

千葉県勤労者山岳連盟（千葉労山）

- ◎ 県連盟事務所
〒262-0033
千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
レジデンス幕張台 101 号室
TEL・FAX： 043-306-1190
Eメール：rousanchiba@grape.plala.or.jp
JR 総武線幕張本郷下車、海側 徒歩 5 分
(県連事務所に常駐者はいません)
- ◎ 加盟会員の事故一報送付先
教遭委員長・岡田 賢一
ken-ichi@f4.dion.ne.jp
Fax：043-271-4704
全国連盟事務局にも必ず送付の事。
- ◎ 連盟費振込み先
郵便振替口座 00160-3-481509
千葉県勤労者山岳連盟
- ◎ 「ちばニュース」原稿送付先
発行責任者：広木 国昭 

NPO法人「ちば労山ゆう」

- 「ちば労山ゆう」は、定時総会で 2017 年度は、定期的な支援活動は実施しない事を確認しました。会で実施する、支援活動は引き続き支援して行きます。会の仲間と、東北の山・民宿の料理被災地の復興視察を合わせて計画してはどうでしょうか？
- ◎ 「ちば労山ゆう」への問い合わせは千葉県連盟ホームページから「ちば労山ゆう」にお願いします
 - ◎ 「食べて復興支援」
気仙沼・石巻の海産物の販売に取り組んでいます。
下記に連絡をお願いします。
広木 国昭
Eメールアドレス
danphiro@zpost.plala.or.jp

【編集後記】

- ・ 理事会報告が、やっと定期的に掲載出来る見通しになりました。4 月より、各理事さんが交代で議事録をとってくれる事になったからです。理事さんご苦労様です。理事会活動を会員に知らせると言った基本的な事を継続したいと思います。
やっと「会員と千葉県連をつなぐ」ちばニュースに、一步踏み出せました。
- ・ ちばニュースの内容、発行システム等の改善を検討しています。最近の内容は、マンネリで発行する事にキュウキュウしています。原稿も足りません。あなたの会の山行や行事の投稿をお願いします。
- ・ ちばニュースを発行に携わっていて、一番気になっているのは、どれだけの会員に届いているのか？読まれているのかです。各会の現状を聞くと、それほど多くはないと判断できます。会によっては会員に全く届いてない、届けられない現状が報告されています。
- ・ 夏山シーズンが間近になりました。準備期間を十分に取り万全を期して入山し、楽しんで下さい。
- ・ 「ちばニュース」のマンネリを克服し、発行体制・誌面を刷新したい。何より、会員に楽しく読んでもらえる「ちばニュース」にしたい。(本音)

—— 編集者 ——

県連活動予定表

7月		行事予定	6月		行事予定
1	土	全国基金担当者会議	1	木	
2	日	〃	2	金	
3	月		3	土	
4	火	県連役員会	4	日	
5	水		5	月	
6	木		6	火	県連役員会
7	金		7	水	
8	土		8	木	
9	日		9	金	
10	月		10	土	初級者講習会(鹿沼岩山)
11	火		11	日	
12	水		12	月	
13	木		13	火	
14	金		14	水	
15	土		15	木	県連理事会
16	日		16	金	
17	月		17	土	
18	火		18	日	
19	水		19	月	
20	木	県連理事会	20	火	
21	金		21	水	
22	土		22	木	
23	日		23	金	
24	月		24	土	
25	火	組織委員会(県連事務所)	25	日	
26	水		26	月	
27	木		27	火	
28	金		28	水	
29	土		29	木	
30	日		30	金	
31	月				

発行者 : 千葉県勤労者山岳連盟
 〒261-0013 千葉市花見川区幕張本郷 1-29-18
 レジデンス幕張台 101号室
 TEL・FAX 043-306-1190 (常駐者はいません)
 発行責任者 : 広木 国昭(danphiro@zpost.plala.or.jp)
 問い合わせは:千葉県連ホームページ・事務局への問合せまで